

奥多摩町、東大和市、東村山市内の各地の空間放射線量測定結果について

2011年10月24日

日本共産党東京都議会議員団

調査日 10月14日（奥多摩町）、10月19日（東村山市、東大和市）

調査地点

奥多摩町	林道、観光地、施設、民家など 16地点・33ヶ所
東大和市	公園、側溝、民家など 15地点・21ヶ所
東村山市	公園、施設周辺など 11地点・16ヶ所

調査目的 奥多摩町は、5月の私たちの調査で隣接した青梅市内で都内でも比較的高い放射線量が計測され、10月の文科省の航空機による測定結果でも比較的高かったため、改めてきめ細かく調査した。

東大和市、東村山市については、住民からの強い要望が寄せられていたことから、調査した。

測定者 日本共産党都議団、各市町の日本共産党議員、地元住民とともに行いました。

調査結果（数値の単位が無いものは、毎時マイクロシーベルト）

奥多摩町 川乗林道では標高が高い所が比較的高く、1150m地点の地表1m高で0.151、地表5cmで0.196だった。その他の低地部では、自然放射線量を0.036とすると、新たに受ける年間放射線量は約1mSv以下で、都心の比較的に低い地点と同程度であった。

東大和市 地表1m高では0.06～0.09であったものの、地表5cm高では、民家の雨樋口で0.599、市施設階段下で0.347など「ミニホットスポット」が確認できた。市施設の箇所については、地元の日本共産党市議団を通して、除染をするよう市に伝えた。

東村山市 地表1m高では0.057～0.134だった。0.134の地点は、東村山中央公園内の腐葉土らしきものが集積されたところで、地表5cm高では0.267（新たに受ける年間放射線量2mSv相当）だった。地表5cm高で最も高かったところが同地点で、その他では市施設の雨樋口が0.207～0.215と、比較的高かった。

以上